

アール・ブリュットを見て・話して・学ぶ濃厚な3日間！

## アール・ブリュット国際フォーラム 2017 及び関連事業のご案内

厚生労働省 障害者の芸術活動支援モデル事業 実践報告会  
 企画展「ライフワークイズムー日本のアール・ブリュットー」  
 企画展「シガカラー3」



①

②



③

《会期》

2017年2月10日(金)～12日(日)

《会場》

びわ湖大津プリンスホテル  
 コンベンションホール淡海

(滋賀県大津市におの浜4-7-7)

※写真は昨年度のフォーラム、展覧会の様子です。

### 概要

2回目となるアール・ブリュット国際フォーラムでは、国内外（日本、アメリカ、オーストラリア、スイス、タイ、ドイツ、フランス）のアール・ブリュットに関する有識者や実践者による講演及びシンポジウムを開催することでアール・ブリュットの今を発信し、議論を深めます。

また、同会場でのプログラムとして、「厚生労働省 障害者の芸術活動支援モデル事業実践報告会」を開催します。

これらと同時に、独創的なライフワークから生み出された全国のアール・ブリュット作品を展示する企画展「ライフワークイズムー日本のアール・ブリュットー」、滋賀県内を作品調査して出会った7名の独創的な作品を展示する企画展「シガカラー3」を開催します。

### 目的

各国のアール・ブリュットに関する有識者・実践者による実践報告や、シンポジウムを通してより、国際的な見地からアール・ブリュットの魅力と意義を考えます。

※アール・ブリュット(仏: Art Brut)

「生の芸術」という意味のフランス語。Art は芸術、Brut はワインなどが生(き)のままである様子を表す。正規の美術教育を受けていない人が自発的に生み出した、既存のモードに影響を受けていない絵画や造形などを指す。

## アール・ブリュット国際フォーラム 2017

2月10日(金) 14:25-16:05

「アール・ブリュット国際フォーラム 2017 (1)」

参加費：1,000円

(10~11日の2日間通し、1日のみ参加も同料金)

※通訳あり、予約不要

14:25~15:15 特別報告1 アメリカ

「ディスアートについて」

クリストファー・スミット Christopher Smit (ディスアート代表)

15:15~16:05 特別報告2 タイ

「タイでの取り組みについて」

ジュンポン・チナプラパート Jumphol Chinapraphat

(芸術療法家)

※展覧会「ライフワークイズム」、「シガカラー3」と並行してタイのアール・ブリュット作品を展示します。

2月11日(土・祝) 9:30~17:15

「アール・ブリュット国際フォーラム 2017 (2)」

参加費：1,000円 (10~11日の2日間、1日のみ参加も同料金)

※同時通訳あり、予約不要

9:30~10:30 特別報告3 ドイツ

「プリンツホルンコレクションについて」

トーマス・レスケ Thomas Röske (プリンツホルンコレクション ディレクター)

10:30~11:30 特別報告4 オーストラリア

「オーストラリアのアール・ブリュット」

コリン・ロードス Colin Rhodes (シドニー大学芸術学部 教授)

11:40~12:30 講演

「人間の本质に迫る美術館を構想する」

長谷川祐子 (滋賀県顧問/東京藝術大学教授)

13:20~15:20 パネルディスカッション

「アール・ブリュットと美術館」

マルティーン・リュザルディ Martine Lusardy (フランス：アル・サンピエール美術館長)

モニカ・ヤークフェルト Monika Jagfeld (スイス：ラガーハウスミュージアム館長)

長谷川祐子 (滋賀県顧問/東京藝術大学教授)

コーディネーター：保坂健二郎 (東京国立近代美術館主任研究員)

15:25~16:05 特別報告5 フランス

「2017 ナント×ジャパン プロジェクト」

パトリック・ギゲール Patric Gyger (フランス国立現代美術センター リュー・ユニック館長)

16:10～17:25 パネルディスカッション

「国際文化交流とアール・ブリュット」

岡部大介（外務省 文化交流・海外広報課長）

朝川知昭（厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部企画課長）

内丸幸喜（文化庁 文化部長）

久保厚子（2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク会長）

## 【Pick up!】



プリンツホルンコレクション（ドイツ・ハイデルベルグ）



セルフ+アート・エキシビション・セラピー（タイ・バンコク）



ディスアート（アメリカ・ミシガン州）



オーストラリアのアール・ブリュット

Anthony Mannix, Green Dotted, c.1992  
pen and ink and gouche on paper

・精神医学者・芸術史学者ハンス・プリンツホルン[1886-1933]が収集した作品を紹介  
「プリンツホルンコレクション(ドイツ)」

・自閉症やパーキンソン病等の人の病状のある人たちに向けて、アートを活用したアプローチ  
「セルフ+アート・エキシビション・セラピー」

・滋賀県顧問／東京芸術大学教授 長谷川祐子氏による講演  
「人間の本质に迫る美術館を構想する」

他、アール・ブリュットを扱う各国の美術館長によるパネル・ディスカッション「アール・ブリュットと美術館」、国内の有識者によるパネルディスカッション「国際交流とアール・ブリュット」など、世界各地のアール・ブリュットの今を発信し、議論を深めます。

主催：アール・ブリュット魅力発信事業実行委員会

構成団体：ボーダレス・アートミュージアムNO-MA[社会福祉法人グロー（GLOW）]、滋賀県[県民生活部文化振興課／健康医療福祉部障害福祉課]、滋賀県立近代美術館、近江八幡市、一般社団法人近江八幡観光物産協会、社会福祉法人愛成会、NPO法人はれたりくもったり、滋賀県施設合同企画展実行委員会

助成：平成28年度文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

独立行政法人国際交流基金アジアセンター（プログラム：特別報告2）

## 厚生労働省 障害者の芸術活動支援モデル事業実践報告会

会場 びわ湖大津プリンスホテル コンベンションホール淡海

参加費無料／予約不要

### 障害者の芸術活動支援モデル事業とは

平成 26 年度より障害のある人やその家族、障害のある人たちの造形活動を支援する人たちを支える事業をモデル的に実施しています。3 年目となる今年度は全国 10 か所で障害者の芸術活動に関する様々な相談を受ける障害者芸術活動支援センターの設置をはじめ、著作権保護や芸術活動支援に関する研修、支援者同志や自治体などの各種関係機関とのネットワークづくり、また作品の調査・発掘、評価・発信にかかる取り組みなどが行われています。

### プログラム

2月10日(金)

#### 「厚生労働省 障害者の芸術活動支援モデル事業実践報告会 I」

福祉事業所、特別支援学校、病院の関係者によるシンポジウム

10:00～11:30

##### 「障害のある人の創作支援について」

石黒望〔一社〕滋賀県作業療法士会事務局長)

加藤郁子(滋賀県立精神医療センター作業療法士)

貴瀬朗〔社福〕虹の会わになろう施設長)

佐々木信一(滋賀県立近江学園支援員)

寺田伸一(滋賀県立野洲養護学校主幹教諭)

藤野裕美子(滋賀県立三雲養護学校講師)

進行：木元聖奈(アイサアドバイザー)

#### 「厚生労働省 障害者の芸術活動支援モデル事業実践報告会 II」

12:20～実践報告

##### 「障害者の芸術活動支援モデル事業」これまでの取り組みについて

これまで3年間の取り組みについて本事業の連携事務局(社会福祉法人グロー[GLOW])より報告します。

12:45～

##### 「実施10団体による実践報告&パネルディスカッション ～モデル事業で積み上げたノウハウを全国へ～」

社会福祉法人ゆうゆう〔北海道〕

特定非営利活動法人アート NPO ゼロダテ〔秋田県〕

特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン〔宮城県〕

社会福祉法人みぬま福祉会 工房集〔埼玉県〕

社会福祉法人愛成会〔東京都〕

社会福祉法人みんなでいきる〔新潟県〕

社会福祉法人ハヶ岳名水会〔山梨県〕

社会福祉法人グロー(GLOW)〔滋賀県〕

一般財団法人たんぼぼの家〔奈良県〕

社会福祉法人はる〔佐賀県〕

### 厚生労働省 障害者の芸術活動支援モデル事業 企画展「シガカラー3」

滋賀県内を調査して出会った7名の作者による企画展を開催します。

日時 2017年2月10日(金)～12日(日)(10日(金)・11日(土) 9:00～21:00、12日(日) 9:00～14:00)

会場 びわ湖大津プリンスホテル コンベンションホール淡海

観覧料 無料

出展者 植松 遼(1999生)、大井 康弘(1982生)、古久保 憲満(1995生)、里田 如(1996生)、田辺 慶大(1999生)、  
森田 郷士(1978生)、吉田 修三(1956生)

主催：社会福祉法人グロー(GLOW)～生きることが光になる～

助成：厚生労働省 障害者の芸術活動支援モデル事業 <http://renkei-sgsm.net/>



## 企画展「ライフワークイズム -日本のアール・ブリュット-」

日時 2016年2月10日(金)～12日(日)  
(10日(金)・11日(土) 9:00～21:00、12日(日) 9:00～14:00)

会場 びわ湖大津プリンスホテル コンベンションホール淡海  
観覧料 500円

※アメニティーフォーラム 21、アール・ブリュット国際フォーラム 2017 参加者は無料。  
中学生以下、障害のある方と付添者 1 名無料。

主催：社会福祉法人グロー（GLOW）～生きることが光になる～

助成：平成 28 年度 日本郵便 年賀寄付金

“つくりたい”気持ちに正直に“つくりたい”ように“つくる”。

奔放ともストイックともいえる精神から生み出されるアール・ブリュットの世界観は、観るものの心を動かし、何物にも代えがたい大切な感覚を教えてください。

“ライフワークイズム”と題した本展では、自分らしさを表現しつづける、畢生(ひっせい)ともいえる作品を一堂に紹介します。つぎることのない衝動と、その人らしいアプローチで向き合い続ける。それらの蓄積が裏付ける表現は、私たちの日常に新鮮な気づきをもたらすことでしょう。

出展者：21 名

石栗 仁之 Ishiguri Hiroyuki 1988～ 新潟県	伊藤 広哲 Ito Hiroaki 1977～ 東京都
伊藤 喜彦 Ito Yoshihiko 1934～2005 滋賀県	岩崎 司 Iwasaki Tsukasa 1928～2006 岩手県
大石 奈美 Oishi Nami 1977～ 佐賀県	岡部 亮佑 Okabe Ryosuke 1993～ 東京都
喜舎場 盛也 Kishaba Moriya 1979～ 沖縄県	小森谷 章 Komoriya Akira 1967～ 埼玉県
近藤 紗代 Kondo Sayo 1993～ 愛知県	佐々木 伸夫 Sasaki Nobuo 1956～ 北海道
澤田 真一 Sawada Shinichi 1982～ 滋賀県	武田 拓 Takeda Hiraku 1988～ 山形県
富塚 純光 Tomitsuka Yoshimitsu 1957～ 兵庫県	戸谷 誠 Toya Makoto 1944～ 東京都
似里 力 Nisato Chikara 1968～ 岩手県	西口 友理 Nishiguchi Yuri 1970～ 奈良県
原塚 祥吾 Harazuka Shogo 1995～ 長崎県	藤本 隆美 Fujimoto Takami 1951～ 岡山県
村田 将吾 Murata Shogo 1999～ 福井県	本岡 秀則 Motooka Hidenori 1978～ 兵庫県
山本 愛 Yamamoto Ai 1985～ 滋賀県	

関連イベント(予約不要)

①「こだわり表現を探るトークセッション」

講師：上田諭([社福]はる)、大柴裕美子([特非]楽笑)、角地智史([社福]みんなでいきる)、  
小林瑞恵([社福]愛成会)、齊藤知子([社福]ゆうゆう)

聞き手：横井悠([社福]グロー(GLOW))

日時：2月11日(土)①13:30～14:10 ②15:00～15:40

場所：展示室内 参加費：無料 ※参加するには入場券の提示が必要です。

②「出口はひとつ！巨大迷路をつくろう」

日々、緻密な迷路を描いている石栗仁之さんの制作を追体験するワークショップを開催！制作にのめり込む気持ちを、観賞と併せて体験しましょう。子どもから大人までご参加いただけます。

日時：2月10日(金)、11日(土)9:00～18:00、12日(日)9:00～14:00

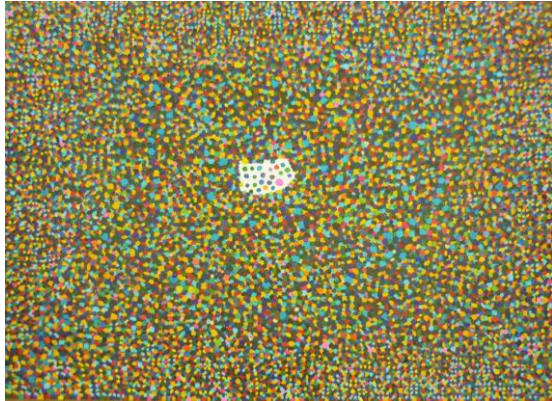
場所：展示室内／対象：子どもから大人まで／参加費：無料 ※参加するには入場券の提示が必要です。

【アール・ブリュット国際フォーラム 2017・展覧会風景 画像】

リリース表紙の①～③をご確認ください。

【企画展「ライフワークイズム」 出展者 作品画像(抜粋)】

④ 喜舎場 盛也 「まる」



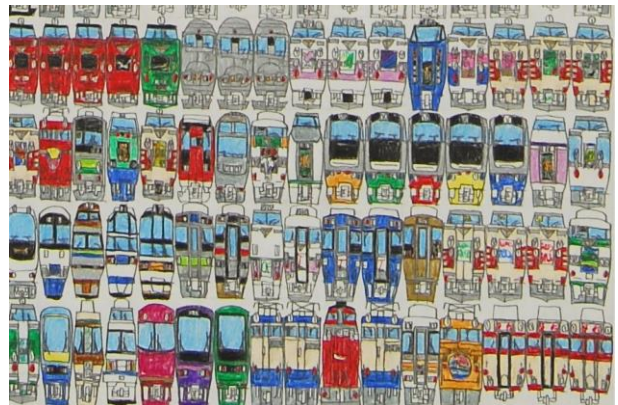
⑤ 近藤 紗代 無題 2016年



⑥ 佐々木 伸夫 「菊池さん」2003年頃



⑦ 本岡 秀則 「電車(部分)」1995年頃～



【企画展「シガカラー3」 出展者 作品画像(抜粋)】

⑧ 植松 遼 「アリゲーター」2015年



⑨ 森田 郷士 「点と線」2015年



アール・ブリュット国際フォーラム 2017

企画展「ライフワークイズムー日本のアール・ブリュットー」

企画展「シガカラー3」

## 広報用画像申込書

社会福祉法人グロー 法人本部企画事業部（ボーダレス・アートミュージアムNO-MA）広報宛

FAX : 0748-46-8228

広報用素材として、過去の開催画像、出展作品画像を用意しております。

ご希望の際は下記申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX又はメールにてお申し込みください。

なお、写真の使用に際し、以下の点をご注意ください。

- ① キャプションは、下記に記載されている作家名、作品名、制作年、コピーライトを表記ください。
- ② 作品画像につきましては、トリミング、文字載せはお控えください。
- ③ 本展記事をご紹介頂く場合には、恐れ入りますが情報確認の為に校正、掲載誌（紙）、DVD、CD等をお送り下さい。

媒体名：『

』

種別： TV ラジオ 新聞 雑誌 フリーペーパー  
ネット媒体 携帯媒体 その他

発売・放送予定日：

御社名：

ご担当者名：

Eメールアドレス：

@

(〒 - )

ご住所：

お電話番号：

FAX：

ご希望の図版番号に✓をおつけください。

## ■アール・ブリュット国際フォーラム 2017・展覧会風景

<input type="checkbox"/>	①アール・ブリュット国際フォーラム 2016 開催風景 photo : 大西暢夫
<input type="checkbox"/>	②アール・ブリュット国際フォーラム 2016 開催風景 photo : 大西暢夫
<input type="checkbox"/>	③2016 年開催の展覧会風景 photo : 大西暢夫

## ■企画展「ライフワークイズムー日本のアール・ブリュットー」

<input type="checkbox"/>	④喜舎場 盛也 「まる」
<input type="checkbox"/>	⑤近藤 紗代 無題 2016 年
<input type="checkbox"/>	⑥佐々木 伸夫 「菊池さん」 2003 年頃
<input type="checkbox"/>	⑦本岡 秀則 「電車（部分）」1995 年頃～ photo : 大西暢夫

## ■企画展「シガカラー3」

<input type="checkbox"/>	⑧植松 遼 「アリゲーター」 2015 年 photo : 大西暢夫
<input type="checkbox"/>	②森田 郷土 「点と線」 2015 年 photo : 大西暢夫

## 【問い合わせ / 掲載用写真貸出・取材】

社会福祉法人グロー 法人本部企画事業部（ボーダレス・アートミュージアムNO-MA）

担当：山田・渡邊 〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 4837 番地の 2

TEL : 0748-46-8100 FAX : 0748-46-8228 Mail : kikaku@glow.or.jp

